

様式1 (視察用)

## 会派行政視察報告書

平成 29 年度会派明誠クラブの行政視察研修を、平成 29 年 7 月 4 日(火)から 7 月 6 日(木)までの 2 泊 3 日にて執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成 29 年 8 月 4 日

名取市議会議長 郷 内 良 治 様

会派名 明誠クラブ

代表 山 口 實



### 記

- 1 期 日 平成 29 年 7 月 4 日 (火) ～ 7 月 6 日 (木)
  
- 2 参加人員 4 名 山口 實  
佐藤 正博  
小野 泰弘  
大久保主計
  
- 3 視 察 先 (1) 佐賀県伊万里市 市民図書館  
(2) 長崎県長崎市 乗り合いタクシー運行  
(3) 福岡県柳川市 水郷をいかした観光振興事業
  
- 4 行 程 表 別紙のとおり
  
- 5 調 査 事 項 別紙のとおり
  
- 6 所 感 別紙のとおり



# 平成29年度 明誠クラブ視察研修行程表

日程	行程	視察先及び視察項目	宿泊
7/4 (火)	<p>仙台空港(7:35 発)⇒⇒⇒(9:40 着)福岡空港(10:08 発)====  <small>福岡市地下鉄</small></p> <p>(10:13 着)博多駅・博多BT(10:33 発)====(12:30 着)東町====  <small>高速バス 昼食・徒歩</small></p> <p>13:30~15:30  <b>伊万里市議会視察</b>====  <small>徒歩</small>伊万里駅(16:20 発)====  <small>松浦鉄道・JR</small>長崎駅.....</p> <p style="text-align: center;">長崎市内宿泊</p>	<p><b>佐賀県伊万里市議会</b></p> <p>所在地 伊万里市立花町1355-1                      電話番号 0955-23-2594 (事務局)                      調査項目 1 市民図書館運営について</p>	<p><b>JR九州ホテル 長崎</b></p> <p>所在地 長崎市尾上町1-1                      電話番号 095-832-8000</p>
7/5 (水)	<p>10:00~12:00  <b>長崎市議会視察</b>====  <small>昼食・徒歩</small>.....長崎駅(14:20 発)====  <small>かもめ26号</small>西鉄バス</p> <p>柳川市中町.....柳川市内宿泊</p>	<p><b>長崎県長崎市議会</b></p> <p>所在地 長崎市桜町2-22                      電話番号 095-822-8888                      調査項目 1 乗り合いタクシー運行について</p>	<p><b>ホテルニューガイア 柳川</b></p> <p>所在地 柳川市三橋町1-14                      電話番号 0944-75-1705</p>
7/6 (木)	<p>10:00~12:00  <b>柳川市議会視察</b>====  <small>昼食・徒歩</small>.....西鉄柳川駅(15:05 発)====  <small>西鉄・福岡市地下鉄</small></p> <p>(16:18 着)福岡空港(17:10 発)⇒⇒⇒(19:00 着)仙台空港</p>	<p><b>福岡県柳川市議会</b></p> <p>所在地 柳川市本町87-1                      電話番号 0944-73-8111 (代表)                      調査項目 1 水郷産生かした観光振興について</p>	<p>△</p>

## 市民図書館運営について

記録 大久保主計

**概要** いま公設の図書館のあり方、運営形態は様々である。極端に分ければ、民間事業者に委託するか、公設直営で運営するかの二者である。名取市においては、新図書館の建設が進む中で、その運営は直営のようだが、ここでもう一度、直営での運営手法を様々な角度から考察し、今後の市民図書館のあり方を整理したい。そのために、直営では全国的に先進的な佐賀県伊万里市の「伊万里市民図書館」を視察した。伊万里市図書館ではなく、市民図書館としているところからも、公設の図書館のあり方が、しっかりと示されている。単なる本の貸出業務に終始せず、「伊万里市をつくり、市民とともにそだつ 市民の図書館」を目標としている現状を視察したが、それは図書館の設計段階からはっきりと共通認識され、関係者の取り組みの情熱が伝わってきたお話を聞くことができた。果たして、名取市の図書館に置き換えて、比較しながら、今後の取り組みについて検討していく基準となるに違いない。

### 1. 図書館の概要

詳細は、別紙資料を参照していただくが、伊万里市の人口は5.5万人。図書館を建設したH7は、6万人。当時、総事業費23億6,480万円で建設している。敷地面積は7,692.14㎡、延床面積は4,374.51㎡（名取市の新図書館は、2,994.59㎡）。広い庭のある敷地に、平屋に感じる建物で、落ち着きがある。職員数は、18名体制で、うち11名が司書である。（名取市の職員数は14名）蔵書は、約37万冊で最大48万冊とのこと。（名取市の新図書館は、開設時18万冊で、蔵書能力は30万冊）

図書館には移動図書館用のバスが2台あり、毎日市内各所、名取市の公民館的な施設を中心に回っている。H29

年度の図書館の予算は、1億6千8百万円。



### 2. 図書館フレンズいまり

図書館に入ると玄関脇にお茶を飲むコーナーが有り、その横には図書館支援市民活動団体のコーナーが設置されている。会員数は392名、5つの委員会を設けており、講演会の企

画・実施や、図書館ボランティア活動、広報活動をしている。その他に読み聞かせなどのボランティアグループも多数関わりをもっている。図書館最大のイベントは、☆（ほし）まつりで、図書館の誕生を祝う会として、関係する22の団体が実行委員会を組織して取り組んでいる。このおまつりは、2日間で約4,000人が参加するという。



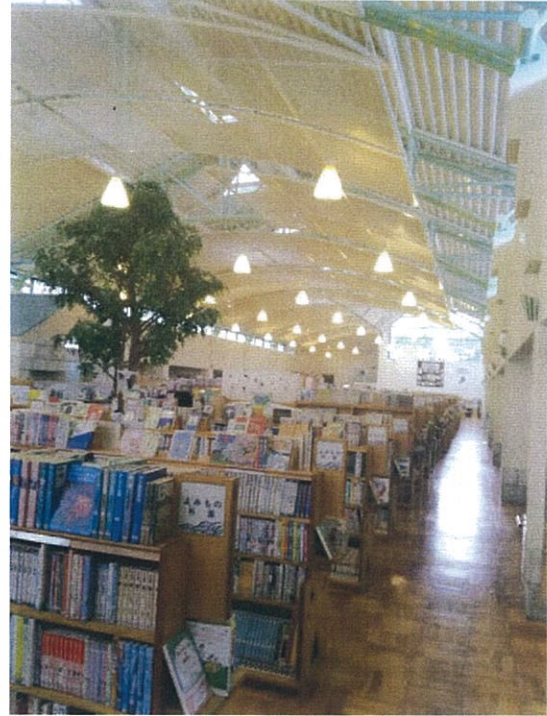
《ボランティアの部屋》

### 3. 特筆すべきこと

伊万里市の図書館条例第1条（設置及び目的）に特色がある。

「第1条 伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治の発展のため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館を設置する。」とある。ちなみに、名取市図書館条例 第1条（主旨）には、「こ

の条例は、図書館法第10条及び第16条の規定に基づき、名取市図書館の



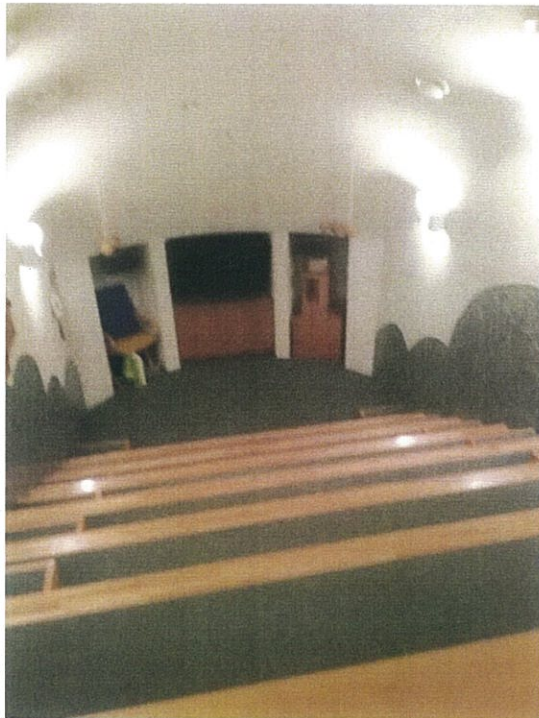
《広くて低い木製の書架》

設置及び管理並びに図書館協議会の設置、その委員の基準、定数及び人気その他必要な事項を定めるものとする。」とある。比べてみると一目瞭然。市民のために、どんな図書館であるべきか、その問題意識をみんなで理解して共有できるように、一番最初に書かれている。残念ながら、名取市の場合、条例のどこを読んでも、伊万里市のような目的が示されていない。

### 4. まとめ

名取市においては、「新名取市図書館整備基本計画」を策定して、新図書館の位置づけを示しているが、一步踏み込んで、伊万里市に習って条例の中

で示し、市民と一緒に、図書館を核としたまちづくりの政策が望まれているのではないかと。ここで重要となるのは、伊万里市のように、以下に市民とともに取り組めるか。市民が自



《おはなしのお部屋》

分たちの図書館という認識の上に、参加していける雰囲気と具体的な取り組みが求められるだろう。担当する職員の力量にもよるが、この市民と協働する、連携して事業をすすめるのが、行政職員が一番苦手とすることでもあり、その取組については、図書館だけではなく、全庁的な課題としてとらえていただきたい。また、新名取市図書館整備計画の中には、図書館をとりまく社会の変化として、「市民も自立した考えのもと、主体的かつ積極的にまちづくりに参画する」として、必要

となる多様な資料や情報を提供する役割を担うのが公共図書館としている点は大変評価できる。これは、公文書館的な役割を十分に担うものであり、どこまでその機能を果たせるか、今後の取り組みについて注視していきたい。

いずれにしても、新名取市図書館の開館は、名取市民が待ち望んでいることであり、当該担当職員を含め、市全体として万全の取り組みをすすめるために、新図書館のテーマ「やすらぎ」「つどい」「ひろがる」から見える目的を共有することが必須と考える。

伊万里市民図書館の名前のように、職員のみならず、市民にも、「市民の図書館」なんだと、しっかりとわかるように説明して、取り組んでいくことが重要であると強く感じた視察だった。



《パソコンのコーナー》

## 長崎市交通不便地域におけるタクシー運行事業について

記録 佐藤正博

要約 長崎市は、市街地の7割が斜面市街地といわれており、このような地形的規制等からバスの乗り入れられない地域、いわゆる「バス空白地域」が数多く存在している。地域住民からも何らかの公共交通機関の整備が望まれていた。このような「バス空白地域」を解消していくことが、地域住民の利便性の向上、公共交通機関の利用促進による交通混雑の緩和、高齢者等の社会参加の促進等を図る上で長崎市の交通政策上重要な課題となっていることから平成14年より本事業を立ち上げた。

### 1. 事業内容

#### 1) 平成14年度より乗り合いタクシーの運行

バス空白地域に居住する地域住民の利便性向上、公共交通機関の利用促進、さらには、高齢者の社会参加の促進を図るため、バス空白地域25地域の中より、以下の条件により5地域を抽出し乗り合いタクシーを運行。



#### 第1段階抽出

- ・市街化地域内
- ・バス停勢力圏300m以遠
- ・最低エリア面積10ha以上

#### 第2段階抽出(対策不要な地域を除外)

- ・公共交通機関が不要な地域(企業内敷地)

- ・バス事業者による乗合バス運行計画地域(長崎バス、県営バス)
- ・土地利用が図られていない地域(工業地域、住居地域)
- ・バス停新設により空白地域が解消される地域
- ・バス空白地域として定義する地域

○第1、2段階抽出の条件により

5地域で運行一丸善団地、矢の平・伊良林、金堀、北大浦、西北地区

- a. 運行車両—ジャンボタクシー(定員：9名)
- b. 運行間隔—20～30分
- c. 運賃—大人200円、子供100円

## 2) 平成17年度よりコミュニティバスの運行

離島内における生活交通手段であるバス路線の維持や、合併した5地区(外海、琴海、香焼、三和、野母崎)内における公共交通空白地域や交通が不便な地域において、コミュニティバス及び予約型乗り合いタクシー(デマンド交通)を運行し、住民の利便性向上を図る。

- a. 3路線離島バス運行—硫王島線、高島線、池島線  
運賃—各路線100円均一
- b. 5路線地域コミュニティバス運行—外海線、琴海尾戸線、香焼三和線、三和線、野母先線  
運賃—距離制運賃 140円より

## 3) 平成21年度よりデマンド交通(琴海地域)の運行

平成21年度から22年度にかけて、琴海地区で運行していたコミュニティバスの代替交通手段として、デマンド型交通の実証実験を行い、平成22年10月から本格運行。(4人乗りタクシー)

運賃—300円(1人)

\*利用する人は、前日予約が必要。

## 2. 成果・課題

以上長崎市では、3事業を推進してきた。特に乗り合いタクシー事業では、開業以来買い物、病院等に多くの地域住民が利用している(平成27年利用者1日753人、28年721人実績)ことにより、バスの空白地域が減り地域住民の利便性の向上に役だっている。

乗り合いタクシーの運行経費5地域(タクシー5社)合計で55,899K円、収入45,390K円で差額10,486K円は、長崎市より補助金として支給されている。(補助率19%) 補助金を今後減らしていくには、利用者の乗車促進へのPRを図ることが、必要となる。今後残りのバス空白地域20地域をどのように解決して行くか課題となる。



### 3. 考察

長崎市では、3事業の実施によりバス空白地域(一部)の解消になり地域住民の生活利便性の向上につながった。本市では、なとりん号の運行を行っているがいまだバス空白地域の解消には、いたっていない。住民の生活利便性向上のため、今回の研修で得た貴重な知識を今後の市政運営に活かして行きたい。



## 水郷を生かした観光振興（福岡県柳川市）

記録 小野泰弘

**要約** 名取市は、震災復興事業の一環として、貞山運河を利用して仙台空港と閑上を結ぶ舟運事業を進めている。この事業の参考とするため、60年以上の歴史をもつ柳川市の川下り事業について視察を実施した。川下りは民間5社が担っており、平成28年度の乗船客数は約34万人であった。柳川市は川下り事業に直接助成することはないものの、着地型観光推進事業「水郷柳川ゆるり旅」の中で、柳川のスイーツとドリンクを味わいながらの川下りを企画している。

### 1. 水郷「柳川」の川下りの歴史

旧柳川城の城濠をたどっていく「川下り」は、今では四季を通じて水郷柳川を代表する観光として親しまれている。約410年前、この城濠は柳川城築城のうちに、城下町形成のため人工的に堀を掘って整備された。中心市街地2km四方に延長60kmにも及ぶ堀割が残っている。

明治以降、城濠でさかんに「川遊び」が行われ、濠に面した家々では小舟を所有し、移動の際に利用しており、舟は柳川の生活に欠かせない道具でもあった。昭和27年度に柳川観光協会が設立され、昭和29年度には、北原白秋の少年時代を描いた映画『からたちの花』の中の「川遊び」が注目された。

この頃の柳河新報は、柳川市が船2

艘を作り、その一つの船の頭に河童の顔がついているとの記事を報じている。また、昭和30年3月に柳川商工会議所の有志が「四月から水郷柳川の観光美を外来客に満喫させるため、川下り観光ルートを国道橋から沖端迄設定、専用遊覧船五艘を柳川造船所に発注した」との記事が見えており、これが現在の「川下り」のスタートになったものとされている。

昭和36年度になると、柳川観光開発株式会社が設立され、30艘で川下りを開始した。

### 2. 川下りの現状

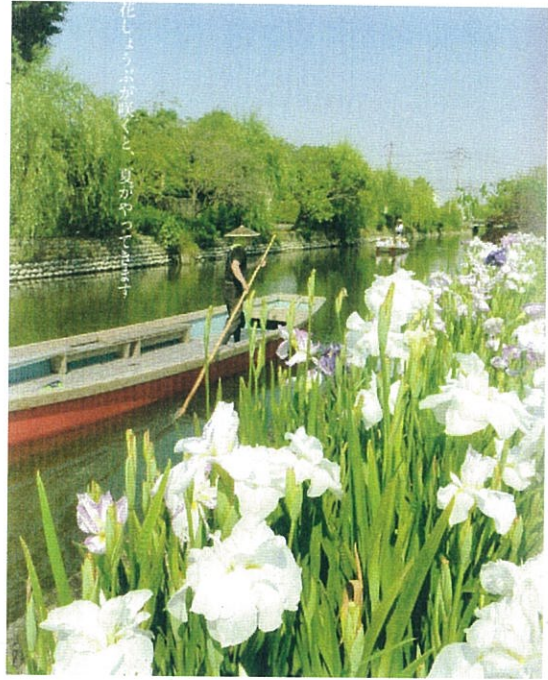
柳川市観光協会のホームページによれば、川下りを事業としている5社は全て民間会社である。柳川市からの助成など直接の支援は無く、観光協会

が個別の相談に応じているとのことである。乗船場は各社1カ所、西鉄柳川駅西側にある。船は10名前後の定員になりしだい、あるいは受付後30分以内に発船する。料金は中学生以上1,500円～1,600円、小人800円～820円となっている。約70分かけて柳川の歴史的遺産や美しい水辺の風景を見ながら、旧柳川藩主邸であった「御花」や北原白秋生家付近で下船する。乗船場にもどるための定時迎えバスを無料で利用できるのも、観光バスや車で来ても戻りのことを気にせず川下りができる。これだけで柳川市の川下りをイメージするのは難しいので、以下に柳川市から提供されたパンフレット中の写真を転載する。



柳川市への平成28年度入込客数は131万6千人であったが、前年度より

約5万1千人減少した。そのうち川下りをした客数は約34万人であり、こちらも前年より約4万8千人減少した。



### 3 柳川市の取組み

柳川市は、着地型観光推進事業「水郷柳川ゆるり旅」を平成25年10月から実施している。これは、通年で楽しめる体験型プログラムを用意し、予約制で誘客するものである。今回の視察後、7月23日から8月19日の期間中、8つのプログラムが用意されている。その中に「どんこカフェ」がある。これは、どんこ舟と呼ばれる川船の上で柳川のスイーツとドリンクを味わいながら川下りをするものである。

柳川市観光まちづくり推進委員会は、平成27年度から平成31年度までの重点政策を市長に提言している。そ

の中で、水郷柳川ブランドの構築や掘割の水質改善などにより間接的に川下りの支援をすべきとしている。

平成26年度観光客アンケート調査では、①船頭のスキル改善、②料金を安く、③途中下船の仕組み、④待ち時間の短縮、⑤送迎バスの充実、⑥夏の涼しいアイテム、などの意見が寄せられた。

#### 4. 考察

本市の舟運事業との大きな違いは、柳川市の川下りが当初から民間の事業として始まったということである。観光客の需要があり、それに応える民間の力もあったということが窺える。平成28年度には、入込観光客131万人の約4分の1にあたる34万人が川下りを利用したことになる。これに対し、平成28年度の仙台空港利用者は約316万人であるが、ほとんどは、本市以外を目的地とする利用者であることに留意すべきである。

柳川市で川下りが利用されるのは、柳川築城以来の歴史的遺産や風景をまとめて見ることができるからであ

ると思われる。一方、本市では貞山運河の歴史的風景は大津波により破壊され、海岸林の復旧には30年かかるとも言われている。また、閑上の観光施設は、いまのところ「ゆりあげ港朝市」（日・祝日）とメイプル館（木曜定休）しか営業していない。さらには防潮水門により当分の間、仙台空港から乗船することはできない。この状況で舟が就航したとしても交流人口の拡大は難しいと言わざるを得ない。

この際、仙台空港利用者に限定せず、市内外から閑上を訪れる全ての方を対象として、舟に乗ってもらえるような取組を考えるべきである。柳川市の「どんこカフェ」のような予約制の体験型プログラムを用意するのも一つの方法である。また、多くの集客が見込める「ゆりあげ港朝市」の開催日（日・祝日）に合わせて舟の便数を集中させるべきである。

